



com+position

全国でも10社無いと言われる帽子専門の工房。その一つが本町二丁目の「com+position (コンポジション)」である。

桐生で縫製業に携わっていた齋藤良之さんが2009年に独立し創業。その後、帽子職人の大山了さんが加わった16年、本町二丁目の機料店だった石蔵を改装し工房兼事務所を設けた。今年3月には同地区の古民家をリノベーションし、ショップ機能を備えた第二の拠点をオープンした。本町通りに面する新拠点には自社ブランド「usine (ユージーン)」の暖簾が掛かり、重要伝統的建造物群保存地区内でも存在感を放っている。

com+position が手掛けるのは、麦わら帽子やフェルト帽、ニット帽など「帽子」と名の付くものならほとんど。OEM(相手先ブランド名製造)を中心に事業を展開してきたが、より自社の技術やセンスを表現しようと、16年に立ち上げたのが「usine」。それから約2年、路面店での販売や口コミ、ネットを通じて情報を発信し、トップからドレープが斜め入るハットやイニシャルの「u」をかたどったハットピンは、今ではブランドのアイコンとして認知され始めている。

見た目の良さだけに留まらず、一つ一つ手づくりされる帽子は上質な質感と抜群のフィット感を備える。昭和50年代のクラシックミシンで縫われる麦わら帽子の場合は、その特殊な構造が縫い目に伸縮性を与え、オリジナルの木型に合わせて丁寧に手作業で整形することで、形状を保ちつつも優しく馴染むかぶり心地を生む。これは帽子作りの伝統的な技法で、麦わら帽子以外にも同じく昔ながらの技により com+position の帽子は産み出されている。

英語で「構築」を意味する社名は、「com=共に」と「position=(周囲における)位置・役割」をプラスでつなぐ。装飾などの工程は他の職人の協力を仰ぐなど、多様な繊維技術が集まる桐生地域内で連携を図るその姿勢は、「ものづくりの輪」の構築そのもの。「自分たちにしかできない、記憶に残る帽子を造っていきたい」と齋藤さん。com+position の帽子は桐生でしか造ることができない、きっと「一生モノ」になるはず。

抜群のかぶり心地を届ける
帽子工房が広げる「ものづくりの輪」

- 住所/桐生市本町2-3-1
- 電話/0277-46-8663
- FAX/0277-46-8667
- HP/<http://www.com-position.net/>

